

令和8年度「全国学力・学習状況調査」大阪市立川北小学校の結果

～分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について～

区 名	西淀川区
学 校 名	大阪市立川北小学校
学 校 長 名	古 谷 史 恵

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和8年4月に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育局では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育局の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・ 国語
- ・ 算数

(2) 質問調査

- ・ 児童に対する調査
- ・ 学校に対する調査

3 調査の対象

- ・ 国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・ 大阪市立川北小学校では、第6学年 58名

令和8年度「全国学力・学習状況調査」大阪市内立川北小学校の結果概要

平均正答率については、国語は、全国平均より7.9ポイント、大阪市平均より6ポイント下回った。算数は、全国平均より2.6ポイント、大阪市平均より3ポイント上回った。国語は全国・大阪市の平均より下回ったが、算数は全国・大阪市の平均より上回った。平均無回答率については、国語は、全国平均より0.8ポイント、大阪市平均より0.8ポイント下回った。算数は、全国平均より0.6ポイント、大阪市平均より1.0ポイント上回った。両教科とも、諦めずに最後まで取り組んでいた様子が伺えた。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

【国語】学習指導要領の内容別において、すべての項目で下回った。「(1)言葉の特徴や使い方に関する事項」では、全国・大阪市平均とまだ差は小さかった。「(2)情報の扱い方に関する事項」では、全国平均より6.6ポイント、「(3)我が国の言語文化に関する事項」では、「A話すこと・聞くこと」「B書くこと」「C読むこと」各内容で、全国平均より10.0ポイントほど下回った。相手の発言の目的や理由について正しく選択することができていた。国語力（「読む」「書く」「話す」「聞く」）を全体的に伸ばしていくための指導の手立てについて考え、継続的な取り組みを考える必要がある。

【算数】学習指導要領の領域別に見ると、「C変化と関係」の領域で全国・大阪市平均より下回ったが、他の全ての領域においては全国・大阪市平均より上回った。特によい結果として表れたのは、「C測定」「Dデータの活用」の領域で、全国・大阪市平均より7～8ポイント上回った。校内の研究教科を算数として取り組んでいる効果が着実に実を結んでいるのではないかと考える。

質問調査より

「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」(91.5%)と肯定的回答をする児童の割合は多く、朝早くきちんと起きていると自分たちが感じているようである。「5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」(79.7%)では、全国・大阪市平均を上回り、自ら考え、進んで取り組んでいると考えられる。「5年生までに受けた授業では、算数の授業で、どのように考えたのかについて説明する活動をよく行っていましたか」(71.2%)でも、全国・大阪市平均を上回り、算数科の学習を得意と思っている児童が多く、算数科の調査結果にもよい結果として表れていた。ただ「自分には、よいところがあると思いますか」(78%)については、全国・大阪市平均を下回り、自己肯定感の低さが顕著に結果として表れていた。

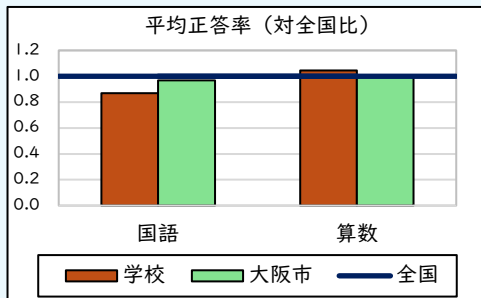
今後の取組（アクションプラン）

国語科では、「読む」「書く」「話す」「聞く」といった基本的な国語の力を全体的に伸ばしていくための指導の手立てについて考え、継続的に取り組む必要がある。国語力はすべての教科学習の礎となる。まずは「読む」「書く」の力を伸ばすために、学校・家庭で数多く音読の経験をし、基礎的・基本的な学習内容の確実な定着を図る。算数科では、個の理解度に応じた指導や学びの場を設定し、学びの形を工夫することで、基礎的・基本的な学習内容の確実な定着を図る。また、自ら進んで課題解決に取り組む姿勢を引き続き大切にし、他者との対話や協働を通して、様々な課題や問いを自ら発見したり、最適解や納得解を導き出したりする力を養う。その伸びた結果を実感させることで、個々に自信をもたせ、自己肯定感を高めることができるようにする。

令和8年度 全国学力・学習状況調査 教科に関する調査結果の概要

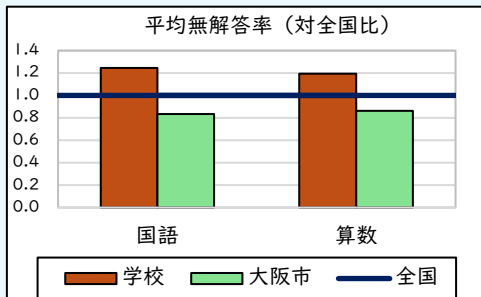
平均正答率（％）

	国語	算数
学校	53	59
大阪市	59	56
全国	60.9	56.4



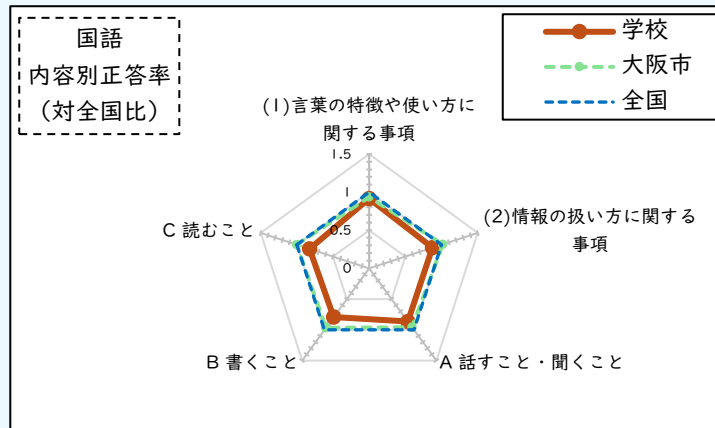
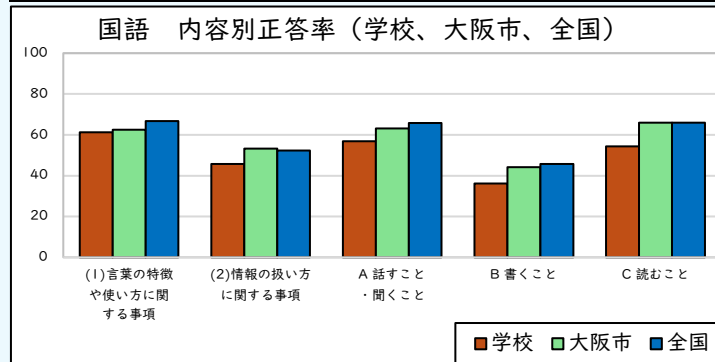
平均無解答率（％）

	国語	算数
学校	4.2	3.8
大阪市	2.8	2.8
全国	3.4	3.2



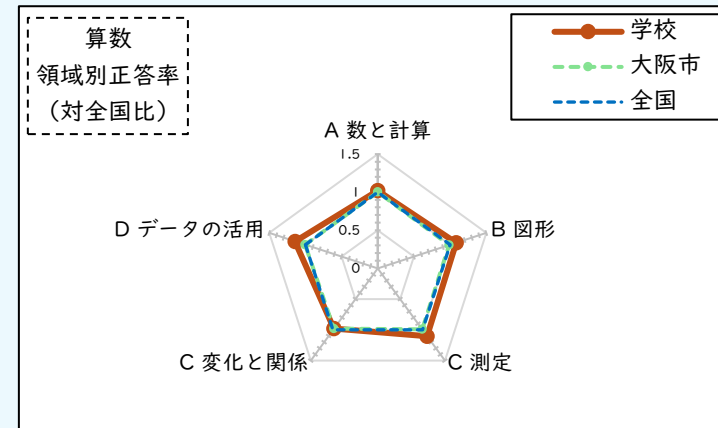
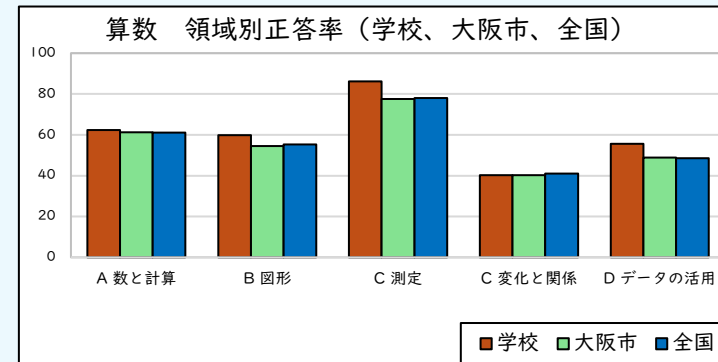
【国語】内容別正答率

学習指導要領の内容	対象問題数（問）	平均正答率（％）		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方に 関する事項	4	61.2	62.5	66.8
(2)情報の扱い方に 関する事項	2	45.7	53.2	52.3
(3)我が国の言語文化に 関する事項	0	-	-	-
A 話すこと・聞くこと	3	56.9	63.1	65.8
B 書くこと	2	36.2	44.2	45.7
C 読むこと	2	54.3	66.0	65.9



【算数】領域別正答率

学習指導要領の 領域	対象問題数 （問）	平均正答率（％）		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	8	62.3	61.2	61.1
B 図形	4	59.9	54.5	55.3
C 測定	1	86.2	77.5	78.1
C 変化と関係	3	40.2	40.3	41.1
D データの活用	4	55.6	48.8	48.6



令和8年度 全国学力・学習状況調査 児童質問調査より

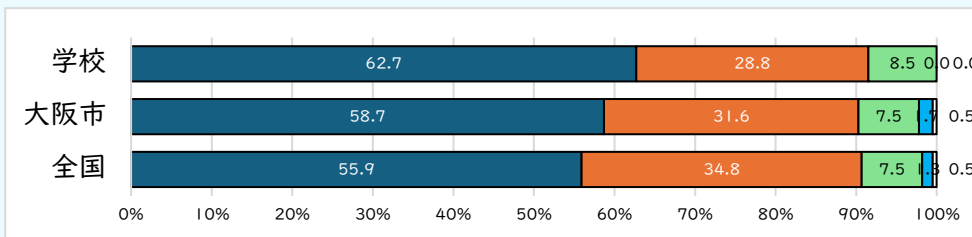
■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5 ■ 6 ■ 7 □ その他・無回答

質問番号

質問事項

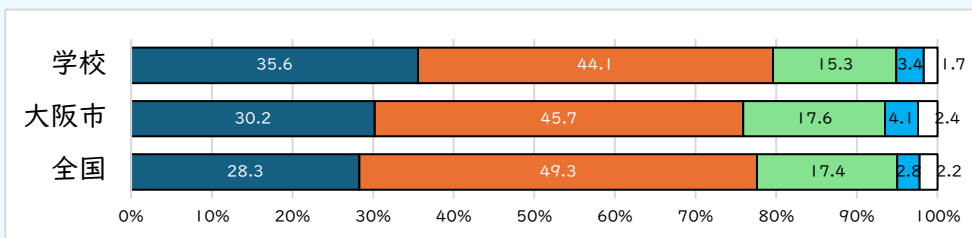
※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

(3) 毎日、同じくらいの時刻に起きていますか



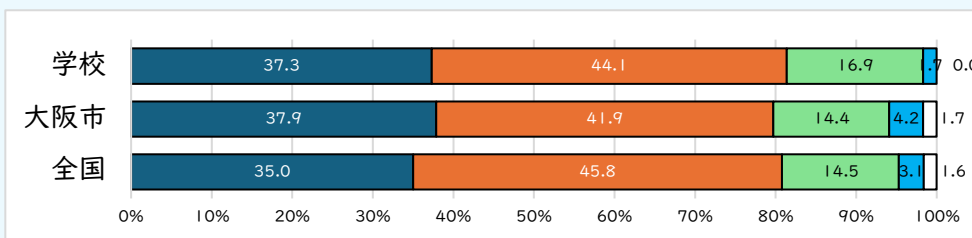
1 している
2 どちらかといえば、している
3 あまりしていない
4 全くしていない

(39) 5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか



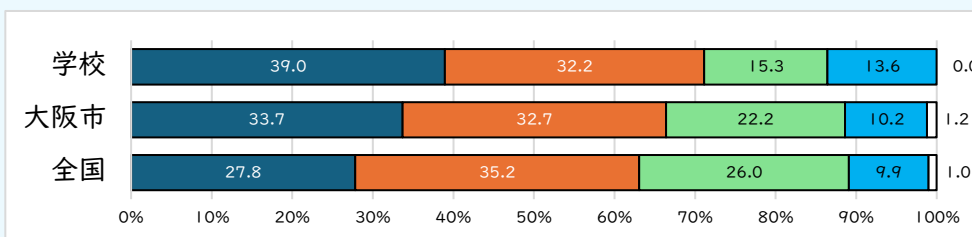
1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

(44) 授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると感じますか



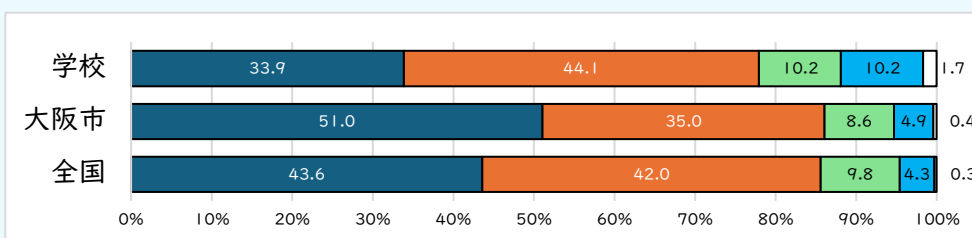
1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

(66) 5年生までに受けた授業では、算数の授業で、どのように考えたのかについて説明する活動をよく行っていましたか



1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

(8) 自分には、よいところがあると思いますか



1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

令和8年度全国学力・学習状況調査 学校質問調査より

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5 ■ 6 ■ 7 □ その他・無回答

質問番号

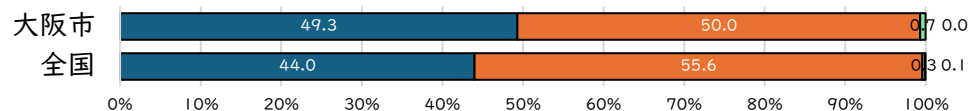
質問事項

※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

(16)

ICTを活用した校務の効率化（事務の軽減）の優良事例を十分に取り入れていますか

【学校の回答】 1 十分に取り入れている

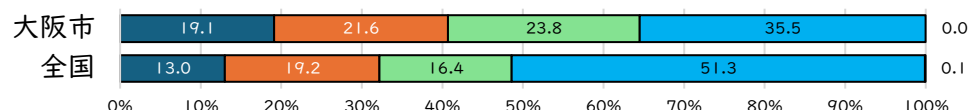


- 1 十分に取り入れている
- 2 一部取り入れている
- 3 全く取り入れていない

(22)

特定の教員が学級担任を務めるのではなく、複数の教員が共同で学級担任を務める体制（いわゆる、チーム担任制、グループ担任制）を実施していますか

【学校の回答】 1 全学年で実施している

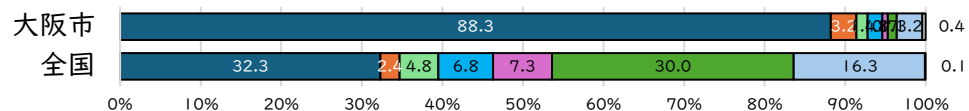


- 1 全学年で実施している
- 2 一部の学年で実施している
- 3 実施に向けて検討している
- 4 実施していない

(70-5)

児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器について、次のような用途でどの程度活用していますか。
(5) 児童の心身の状況の把握

【学校の回答】 1 ほぼ毎日

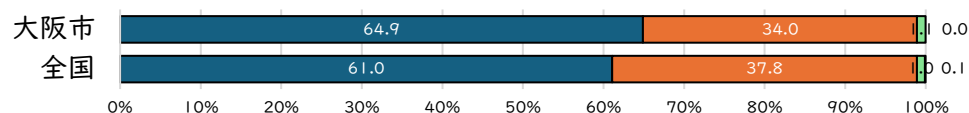


- 1 ほぼ毎日
- 2 週3回以上
- 3 週1回以上
- 4 月1回以上
- 5 月1回未満
- 6 活用していない
- 7 該当する児童がいない

(72)

前年度までに、調査対象学年の児童に対する授業の中で、発達障害を含む障害のある児童も含めた、多様な児童が通常の学級に在籍していることを前提に、学級全体での指導の工夫を行いましたか

【学校の回答】 1 十分に行った

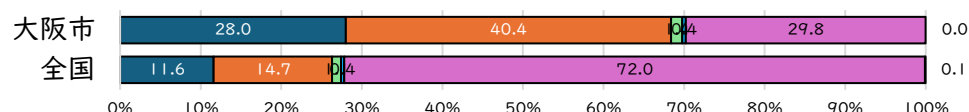


- 1 十分に行った
- 2 一部行った
- 3 全く行かなかった

(75)

学校では、調査対象学年の児童のうち、日本語指導が必要な児童に対して、特別な配慮に基づく指導をどの程度行っていますか

【学校の回答】 1 十分に行っている



- 1 十分に行っている
- 2 どちらかといえば、行っている
- 3 あまり行っていない
- 4 行っていない
- 5 該当する児童がいなかった